桜の聖母学院新聞

発行所
福島市野田町七丁目11番1号
桜の聖母学院部
高校新聞部

サクラ咲く 桜の聖母 春爛漫

新制服最初の学年が卒業

本高校の開校以来初めての、制服の全面変更が実施された最初の学年である、第57回卒業生121名は、2011(平成23)年3月1日に晴れの卒業を迎える。在学中にたゆまぬ努力で学業・スポーツ・文化活動などに顕著な成果をあげた生徒に贈られる、栄えある受賞に輝いた卒業生の皆さんを紹介し、後に続く在校生たちの良き励みとしていただきたい。

本校のおもとの創設者であり、「カナダ建国の母」とも称される17世紀フランス人修道女の名を冠した、本校卒業生にとって最高の賞である「聖マルグリット・ブールジョワ賞」は、これまで競泳の加藤利さん(第54回卒業生)、本校初の東京大学合格者となった益子裕子さん(第55回卒業生)らに贈られてきた。今年は学業面で顕著な成績を残した、高橋優さん、半澤さくらさん(以上英語科)、三宅真里世さん(普通科国公立特進)の3名が、このすばらしい栄誉ある賞に輝いた。学校長賞には、学業成績で染宮千明さん(英語科)、林さやかさん(普通科国公立特進)、新城佳野さん(普通科大学進学)。スポーツ・文化活動では、3年連続インターハイ全国大会に出場し、1年前の東北大会を制する原動力となった、卓球部の菅原亜子さん、松岡奈々さん、高橋由希さん、清野由紀さん(いずれも普通科大学進学)。2・3年次にインターハイ全国大会に出場した、競泳個人メドレーの佐藤瑛さん(普通科大学進学)が、その活躍を称えて選ばれた。さらに生徒会活動で、生徒会会長などを歴任した長井織江さん(普通科大学進学)、会計長などを務めた亀井彩さん(普通科国公立特進)が該当し、表彰を受ける。

(なお、林さん、松岡さん、亀井さんの顔写真は、裏面の「合格体験記」に掲載)

聖マルグリット・ブールジョワ賞に輝く、右から高橋さん、半澤さん、三宅さんと、遠藤静子校長先生、石川勝副校長先生

染宮千明さん

菅原亜子さん

新城佳野さん

清野由紀さん

高橋由希さん

長井織江さん

佐藤瑛さん

◎精勤賞
英語科　小笠原絢香
　　國分美菜代
　　松木　彩花
普通科国公立特進　有壁　仁美
　　石森　琴巳
　　佐藤　水紀
　　三宅真里世
　　吉野　里菜
普通科大学進学　佐藤　瑛
　　高橋　山希
　　新城　佳野
◎精勤賞
普通科国公立特進　菊田　綾夏
　　鈴木　瑛子
　　林　さやか
普通科大学進学　猪野　有沙

皆勤賞・精勤賞は次の通りだが、この中には聖マルグリット・ブールジョワ賞や学校長賞との「ダブル受賞」となる生徒や、裏面で紹介されている難関大学合格者と重なる生徒も多い。後輩の私たちも、学校を休まないことや遅刻をしないことは、進路目標実現の大前提であるという教訓を先輩たちの姿から学べるのではないだろうか。

校歌

美しきわがまなびや
山脈はめぐりて高きその姿
黄金なすそのやすらいに
汝をば育み
黄金なすそのやすらいに
みそらはほほえむ

紙面紹介

1面・祝!第57回卒業生
・卓球部、春の全国大会へ
・さよなら留学生マディ
2面・筑波大学見学記
・3年生合格体験記
・県文学青少年奨励賞

本年度の進路状況について

進路指導部長　大高　房子　先生

来年度の大学入試も、主に私立大学の一般入試と、国公立大学の二次試験を残すだけとなりました。今年も寒波襲来の中、1月15・16日に大学入試センター試験が行われ、本校では3年生の中で57名が受験しました。規模と内容から高校の学習の総決算ともいうべきセンター試験は、わが校においてはぜひ全員に受験してほしいものです。

1月末段階で、本校の三年生の約65%が進路を決定しており、残り35%が第一志望の進路をめざし、現在も頑張り続けています。

さて、今回の2011年度入試で特徴的だったことを、いくつか挙げてみます。

①入試の多様化が昨年度と同様、依然として継続していること。AO入試・推薦入試といった形態です。大学側には、一般入試ではほかない特徴を持った学生の確保、というねらいがあります。第一志望の大学であるならば、このような入試でチャレンジするのも良いと思いますが、受験生は志望理由書の作成や面接対策、小論文対策などにも時間をとられることになります。志望動機を書くことも、自分の決意を確認するためにも大切なことですが、受験で課される小論文等は、日頃の活動実績があるだけでなく、関係ある分野の本をたくさん読んでいることによって、はじめて内容のあるものになります。AO入試や推薦入試だけのためにそれらを準備しなければならないのであれば、その後の一般入試のために勉強する時間をかなり費やしてしまうことを、心に留めておいてください。

②私立大学のセンター試験参加の増加傾向は続き、今年は全国の私立大学の504大学・1440学部で、センター試験を利用した入試が行なわれています。センター試験の得点の上にさらに二次試験を課す大学もありますが、センター試験だけで合格が決まる大学もあります。出願しただけで合否が決定するので、入試日が重なるといった問題もなく、便利な入試方法であるとも思われます。センター試験の科目数を限定している大学もあるので、苦手教科があっても、それを挽回する得意教科があれば、合格は可能です。在校生の皆さんは、模擬試験等において目標点数を設定し、得意分野を伸ばし、不得意分野を克服するなど、各教科をくまなく学習し、あきらめずに努力を続けることが大切です。

③指定校推薦入試は、校内選考を通って出願すれば、ほぼ100%の合格率です。受験生にとって、時期的にも早く確実に進路を決定できる指定校推薦は、人気があります。しかしこの入試方法は本来、大学と高校の信頼関係に成り立っているものです。指定校推薦や公募制推薦入試で合格した生徒の皆さんは、後輩のためにも自覚して大学生活を過ごしてほしいものです。推薦入試で受験する大学を選ぶ場合は、自分の第一志望であり、将来の夢に向かっての学びができる学部・学科であることが大切です。

推薦入試やAO入試で早めに合格を決めた人は、自分自身で課題を設定し、4月の大学入学まで勉強を続けてほしいと思います。この時期に英検などの検定試験に取り組んで、実績を上げた先輩たちが数多くいます。卒業までの高校生活を有効に過ごし、4月から自信を持って大学生活に入ることが大切です。

＊＊＊＊

3年生の最後まで、この桜の聖母学院高校でしっかり学力と考える力を身につけて志望校に進み、夢に向かって大きく前進して欲しいと思います。そして未来を拓く卒業生の皆さんは、桜の聖母学院で学んだ「愛と奉仕」の心を基盤にして、有為な社会に寄与できる女性になってください。

最後に在校生の皆さんへ。自分が将来やりたいことはありますか。なりたいものや進みたい進路がはっきりしない人はぜひ、ご家庭の方々や担任の先生方に相談してください。また、友人たちと将来の夢の話をしてみましょう。他の人の考えを知ることはまた、自分自身を知るよいきっかけにもなります。

皆さんの将来のために、今の高校時代の毎日は、とても意味のあることなのです。一つひとつの授業や課題や行事にしっかり取り組み、よく考えること。部活動と学習活動を両立すること。毎日の予習・復習を行なって授業に望み、日常の学習を充実させること、定期試験を大切にすること。目の前にあることに一つひとつ一生懸命取り組んでいるうちに、自分の進むべき道が見えてきます。

なお、現在の高校2年生が受験する次回2012年のセンター試験から、「地理歴史・公民」科の中に新科目「倫理、政治・経済」が新設され、一部の大学・学部ではそれを受けていないと出願できないなど、主に地歴公民科と理科においていくつかの変更点がありますので、志望大学の出願条件と照らし合わせてよく確認することをお勧めいたします。

2011年度　入試合格速報

大学52名　　2月1日現在

大学名	学部	学科	英語科	普通科
宇都宮大学	工学部	情報工学科		1
お茶の水女子大学	文教育学部	言語文化学科	1	
弘前大学	教育学部	養護教諭養成課程		1
福島大学	理工学群	共生システム理工学類		1
桜美林大学	ビジネスマネジメント学群	ビジネスマネジメント学類	1	
		アビエーションマネジメント学類	1	
	リベラルアーツ学群			1
神田外語大学	外国語学部	国際コミュニケーション学科	1	
京都女子大学	文学部	英文学科		1
國學院大學	神道文化学部	神道文化学科		1
国際医療福祉大学	保健医療学部	看護学科		1
		言語聴覚学科		1
淑徳大学	総合福祉学部	教育福祉学科		1
上智大学	文学部	史学科	1	
		哲学科		1
	経済学部	経営学科		1
白百合女子大学	文学部	英語英文学科	1	
聖心女子大学	文学部		2	2
聖徳大学	児童学部	児童学科(保育士養成コース)		1
		児童学科(幼稚園教員養成コース)	2	1
仙台白百合大学	人間学部	健康栄養学科(管理栄養専攻)		1
玉川大学	文学部	人間学科		1
	リベラルアーツ学部	リベラルアーツ学科		1
中央大学	文学部	社会学専攻		1
帝京大学	文学部	教育学科(初等教育学専攻・初等教育コース)		1
	医療技術学部	看護学科		1
東京工科大学	メディア学部			1
	芸術学部	アニメーション学科		1
東京成徳大学	人文学部	観光文化学科		1
東京福祉大学	心理学部	心理学科		1
同志社大学	文化情報学部	文化情報学科		1
東北学院大学	文学部	英文学科	1	
東北福祉大学	総合福祉学部	社会教育学科		1
		福祉心理学科		2
	総合マネジメント学部	産業福祉マネジメント学科		1
獨協医科大学	看護学部	看護学科		1
南山大学	外国語学部	英米学科		1
日本赤十字秋田看護大学	看護学部	看護学科	1	
福島学院大学	福祉学部	福祉心理学科(社会福祉・精神保健福祉コース)		1
		福祉心理学科(臨床心理コース)		1
文京学院大学	外国語学部	英語コミュニケーション学科(国際教養コミュニケーション)	1	
法政大学	経営学部	経営学科		1
宮崎学院女子大学	学芸学部	生活文化デザイン学科		1
明治薬科大学	薬学部	薬学科		1
横浜薬科大学	薬学部	臨床薬学科		1
立正大学	社会福祉学部	社会福祉学科		1

短期大学18名

桜の聖母短期大学	英語学科		1	
	生活科学科	食物栄養専攻		3
		福祉こども専攻(こども保育コース)		7
		福祉こども専攻(ライフデザインコース)		6
文化女子短期大学	服装学科	ファッションビジネスコース	1	

左から、小林さん、堀江さん、熊谷さん、遠藤さん、八木澤さん

本校卓球部 3年連続春の選抜へ!

本校卓球部が福島県の頂点に立った後、あの青森山田高校を破って悲願の東北チャンピオンとなった、1年前のこの大会では、人数も実力も豊富だった現在の3年生たちが主力メンバー。しかしその引退後に残った後輩の部員は、1年生4人と、2年生は実に1人。その全員がエントリーして何とか団体戦に出られるという文字通りの総力戦で臨んだ今回、二連覇どころか、7位までが行ける全国大会への切符もかなり苦しいだろうというのが、関係者の見方だった。

東北6県から各3校の代表が出場して競うこの大会は、まず6チームずつ3ブロックに分かれて予選リーグを戦い、各ブロックの1位が1~3位決定戦に進める。本校はこの予選リーグ5試合を、大方の予想を覆して4勝1敗で堂々のBブロック1位通過を果たし、まず全国大会への出場権を得た。ただしその4勝は、すべてゲームカウント3−2という、薄氷を踏む勝利だった。

宿敵・青森山田高校と、鶴岡東高校との1~3位決定戦では、さすがに層の厚さで敵わず3位に終わったが、少人数の逆境を跳ね返しての大健闘だった。

熊谷亜美さん(郡山ザベリオ学園中出身)、遠藤彩椰さん(会北中出身)の両1年生エースの活躍はもちろんだが、唯一人の上級生として後輩を引っ張った小林瑞樹さん(北信中出身)の存在もはかりしれない。「彼女がいたからこそ、八木澤亜季さん(北信中出身)と堀江美緒さん(福大附属中出身)の1年生も、ここまで頑張り続けられた」と、顧問の小林直哉先生は瑞樹さんの働きをたたえた。

この精鋭5名の、3月26日から愛知県豊田市で開催される全国高校選抜卓球大会での、さらなる快進撃を期待しよう。

「聖マルグリット・ブールジョワ賞」

高等学校在学中の学業成績・生徒会活動・文化活動・スポーツ活動において、優れた功績を残し、後輩の良き模範となる者。

(1)学業成績…3学年を通して真摯に学業に臨み、各学年末評点平均が90点以上である者。

(2)文化活動・スポーツ活動…部活動や校外活動において、国際大会に出場、全国大会上位入賞など、著しく活躍した者。

「学校長賞」

高等学校在学中の学業成績・生徒会活動・文化活動・スポーツ活動において、優れた功績を残し、後輩の良き模範となる者。

(1)学業成績…3学年を通して真摯に学業に臨み、3学年末評点平均が90点以上である者。
(ただし、1・2年次も各評点平均が85点以上であること。)

(2)文化活動・スポーツ活動…部活動や校外活動において、インターハイや国体などに出場するなど著しく活躍した者。

(3)生徒会活動…4期連続して生徒会役員として、積極的に生徒会活動に貢献した者。

「皆勤賞」

3年間を通して、無欠席・無遅刻・無早退である者。

「精勤賞」

3年間を通して無欠席であり、遅刻・早退の合計が3回以内の者。

See You Again, MADDIE

昨年4月より、オーストラリアから本校の2年1組に留学していた、マダリン・ウイリアムズさんが、1月下旬に帰国しました。1年足らずの短い留学期間に、語学や文化など様々なことを学んだようです。帰国直前のマディことマダリンさんに、留学中の思い出などをうかがいました。

Q:なぜ日本に留学しようと思ったか?

A:日本語はかっこいいと思った。4年前のある日、日本で英語を教えてみたい!と思ったから。

Q:来る前と比べて日本の印象は変わった?

A:古い家がたくさんある、もう少し古風な国かと思っていた。実際はかなりモダンではあるが、お祭りなどの伝統行事がたくさんあった。

Q:留学中に頑張ったことは?

A:日本語の中でも特に漢字に力を入れて勉強した。そのおかげで留学中に漢字検定10級に合格できた。

Q:日本で気に入ったものは?

A:食べ物は、いなりずしとラーメン。店なら109や百円ショップ。キャラクターはジブリのポニョ!

Q:日本人の印象は?

A:スマート(賢い)!そして忙しい。勉強と仕事に締りがある。冬休みも休む暇なく勉強していましたね。それから、毎日ハイテンションだと思った。

Q:この留学を、今後どのように生かしたいか。

A:今回の留学は、人生一番の思い出になった。私は18歳なので、帰国後すぐに音楽大学に行くことになっているが、この経験を将来に役立てたい。また、桜の聖母でできた友人たちと、いつか日本で英語教室を立ち上げるのも夢。

＊＊＊＊

サッカーアジアカップ決勝の、日本対オーストラリア戦の真っ最中に、「日本を応援するわ!」と言い残して帰国の途についたマディ。なお彼女の故郷は、1月には大洪水、2月にはハリケーンに見舞われた、東部クイーンズランド州です。人々が被害の傷跡から立ち直れるよう、マディを通して私たちにできることを考えてみるのも、ひとつの国際協力かもしれません。

渡邊優さん最優秀

ソロプチミスト福島ユースフォーラム

今年1月に開かれた、国際ソロプチミスト福島の第14回ユースフォーラムで、本校2年の渡邊優さん(福島第一中出身)が最優秀賞に選ばれた。渡邊さんは今年8月に北海道で開かれる、国際ソロプチミスト日本北リジョンのユースフォーラムに出場する。

国際ソロプチミストとは、地域社会や世界において、人権と女性の地位を高めるために奉仕活動を行なっている世界的なボランティア団体。1921年アメリカで生まれ、日本では1960年に結成された。現在542クラブ、15,000名ほどの会員が活動している。日本は5つのリジョンに分かれ、東北と北海道は「日本北リジョン」に入る。

今回のテーマは、『食に思うこと、感じること~食を通して教育・農業・環境などを考えよう』で、福島市内6校の高校の1・2年生14人が参加。渡邊さんは母親の手作り弁当への思いから、食をめぐる家族や家庭のつながりを語り、見事最優秀に輝いた。北海道での活躍を期待したい。

部説

▼「雪上霜を加う」この言葉が今、日本国内を揺るがしている。1月26日、宮崎・鹿児島県境の霧島連山、新燃岳(しんもえだけ)が噴火し、大量の火山灰や噴石を降らせている。島根の病に続く、南九州を襲った天災である。52年ぶりの爆発的噴火で、衝撃波が空振となって大地や建物を振動させ、住民の不安は募る一方だ▼大地を震わせ、多くの人命を奪った天災といえば、16年前の阪神淡路大震災が思い出される。月日が経過し街が復興しても、人々の心は癒えていない。あの時、被災地に駆け付けたボランティアは延べ160万人を超え、その人数のみならず、医師や看護師などの専門職だけでなく学生や社会人の一般人も続々と加わったため、この年は「ボランティア元年」とも呼ばれた▼その一人が、政界に足を踏み入れる前の作家・田中康夫氏だ。彼は愛着ある神戸の街の悲報を知って、スクーターで現地に駆け付け、水や下着などの生活必需品を直接配ったのだが、その時の思いを後にこう書いている。「マスコミや企業の偽善、被害者の心を汲み取れない行政の体温の低さには絶望した」▼現在の政治の世界では、立て続けに降りかかる天災・人災に直面しての対応がはつきりせず、身内の不祥事に振り回され、与野党が互いの揚げ足取りに終始するという噴かわしい状況が続く。これでは政権交代前と何の変わりもないどころか、日本の政治をますます停滞させ、世界から取り残されていく悪循環が続くだけだ▼新燃岳の噴火や鳥インフルエンザ、そして北日本の豪雪などに際し、ぜひ政治家たちは現地に出向いて現状を知り、被災者の声に耳を傾けてほしい。自然災害や戦争などの非常事態で、まず犠牲となるのは、子どもやお年寄り、障がい者などの災害弱者である。とりわけ高齢化の進む我が国では、こういう場合のお年寄りへの援助こそ、最優先に行われるべきだ▼そのような地道な努力と適切な対応策を誠実に積み重ねてこそ、政治への信頼も回復できるというものではないだろうか。国民の政治に対するわずかな希望の道までも、灰に埋もれさせてしまうことのないよう願いたい。

(滝口美那)

筑波大学キャンパス見学記

菅野先輩の案内で

前号の「東京大学キャンパス見学記」が好評だったため、シリーズ化が決定！　今回は茨城県つくば市の筑波大学を訪ね、昨年現役合格した菅野風花先輩（桜の聖母学院中出身）の案内で、最先端の研究施設などを誇る広大なキャンパスを見学してきました。これを読んだ後輩の皆さんが、一人でも多く筑波大学に関心を持ち、選択肢の一つとされることを願います。

案内してくださった菅野風花先輩は、昨春本校を卒業し、現在は大学１年生

筑波大学の成り立ち

国立大学の中ではかなり新しい部類に属する筑波大学ですが、その前身までさかのぼれば、日本最古の師範学校にたどりつきます。1872（明治5）年に設立された教員養成学校である東京師範学校は、戦後に東京教育大学となりました。ところが1960年代に盛んになった学生運動に対応して、新しい大学の形が模索された結果、1973年に東京教育大学を茨城県の筑波研究学園都市の一角に移転し、装い新たな新構想大学として筑波大学が誕生したのです。前回お邪魔した東京大学本郷キャンパスの安田講堂が、学生たちに占拠された「東大紛争」が1968～69年ですから、まさにその時代に、学生たちがしっかりと勉強に打ち込める大学をつくろうとしたわけで、その特色は今でも受け継がれています。最近でこそ国立大学でも珍しくなくなった推薦入試を、当初から積極的に導入したり、他大学では一般的な1～2年生の「教養課程」を置かないなど、様々な試みが実践されてきました。

キャンパス入口のモニュメント

また筑波大学では当初から、他大学の学部にあたる「学群」と、その下の学科にあたる「学類」という区分をとってきましたが、第一～第三学群といった番号制がわかりづらかったことなどから、2007年に大幅な改組を実施。現在は「人文・文化学群」「社会・国際学群」「人間学群」「生命環境学群」「理工学群」「情報学群」「医学群」「体育専門学群」「芸術専門学群」の9学群と、その下の23学類で構成されています。

ちなみにこの「学群」「学類」という構成は、私たちの地元の福島大学や、桜美林大学でも採用されるなど、徐々に広がっています。

なお「情報学群」の中にある「知識情報・図書館学類」は、かつて筑波キャンパスに隣接してあった国立の「図書館情報大学」を、2002年に統合してできた学類です。そして今回案内してくださった菅野風花先輩が在籍するのも、この知識情報・図書館学類なのです。

広大すぎる？キャンパス

筑波大学は、かつて東京教育大学のあった東京都文京区大塚に「東京キャンパス」などを持っていますが、メインはなんといっても筑波山麓に広がる茨城県つくば市の広大な「筑波キャンパス」ですので、今回もそこを訪ねました。

40年近く前の開学当時には、本当に山と田んぼしかなかったという筑波キャンパス周辺も、徐々に街が形成され、今では学内の宿舎（学生寮）に入らなくても、近隣の民間アパートが充実。さらに2005年「つくばエクスプレス」の開業により、東京都心の秋葉原まで快速に乗ればわずか45分と近くなったので、東京から通う自宅生も増加しているそうです。

なお福島市から行く場合は、最寄の常磐線土浦駅を使うと、郡山から磐越東線を経由していわきから南下することになるため、ちょっと不便。菅野先輩も帰省する時には、いったん東京まで出て東北新幹線を使うそうです。今回私たちは磐越・常磐自動車道を通って車で行ったので、福島～盛岡間とほぼ同じ片道3時間足らずで到着しました。

キャンパスのあちこちに駐輪場が

福島は雪に閉ざされていたこの時期、筑波には全く雪はありませんでした。聞けば、まず雪を見ることはない温暖な気候とのこと。その代わり去年の夏は、菅野先輩が2度熱中症にかかるほどの猛暑だったそうです。まあ昨夏は日本のどこでも大変でしたが。

まず圧倒されるのが、258ヘクタール＝東京ドーム約55個分の広大なキャンパス。単一キャンパスとしては日本の大学で最大という敷地は、南北に細長く、本部棟をはじめ研究棟・講義棟がある「中地区」、学生宿舎などのある「北地区」、講堂や体育・芸術系の棟がある「南地区」、附属病院はじめ医学系の棟や研究施設のある「西地区」、以前は図書館情報大学があった「春日地区」の、5地区に分かれています。あまりに広いので、キャンパス内での学生の移動はもっぱら自転車。私たちが行った日は授業のない土曜日でしたので、自転車はまばらでしたが、至る所に駐輪場が設置されていました。

筑波キャンパス中地区、第２エリアと第３エリアの間の広場

中地区には膨大な蔵書を誇る図書館（2階にはスタバもあり）や、食堂などがあって、学生生活の中心ですが、たいていの大学にある「大学生協」がないのも筑波大学の特色の一つ。代わりに「厚生会」が運営する食堂は、メニューが豪華。留学生も多いので、エスニック料理も味わえます。菅野先輩にひととおりキャンパス内を案内してもらった私たちは、食堂で一緒にお昼を食べながら、筑波大学のキャンパスライフについてお話をうかがいました。

勉強するなら筑波へ行け！

そもそも私たちが訪問した1月末は、たいていの国立大学では学年末試験の真っ最中のはず。にもかかわらず菅野先輩が快く案内を引き受けてくださったのは、先輩が心優しいからだけではなく、筑波大の試験が楽勝だからでもなく、なんと筑波大学の学年末試験はまだまだ先の3月に入ってからだったのです。

一般的に日本の大学は前期と後期の2期制で、7月末に前期期末試験があり、8～9月の2か月間の夏休みの後に後期が始まり、後期の期末試験が1月末～2月初めにあった後は、また2か月間の長い春休み…という常識は、ここ筑波大学では通用しません。4～6月の1学期の後にまず期末試験、7～8月の夏休みが終わると9月の頭から2学期が始まり、11月に期末試験。そのあと5日間の短い「秋休み」がありますが、実は推薦入試のための休みみたいなものだそうです。その後に始まる3学期が、年末年始を挟んで3月の初めまで続くとのことで、大学には珍しい3期制で徹底的に勉強させるシステムです。

「福島で9月に同窓会って言われても、こっちは授業ですよ」と苦笑する菅野先輩。科目によっては「中間試験」を実施するものもあり、実に年に6回の試験となります。さらには必須科目にもかかわらず、約半数の受講生を落とす名物教授もいて、落とされた学生は卒業までにその単位を取得するため、何度も履修し続けるそうです。

「こんな実情を話すと、志望する後輩が少なくなりそう」と心配しながらも、「でも、遊ぶために大学に行くのではなく、勉強するために行くのなら、絶対におススメの大学ですよ」と語る菅野先輩は、高校1年生の頃からこの大学を第一志望に決めていたそうです。小さい頃から本が大好きで、今でも空き時間には必ず図書館に行くという菅野先輩にとって、最適の大学・学群・学類だったわけで、本当に充実した大学生活を送っておられることがよく伝わってきました。

はっきりとした目的を持ち、当たり前ですが「勉強するため」に大学に行くのだという人は、迷わず筑波大学に行こう！

3年生から後輩たちに伝える

大学受験、現役合格体験記

昨年の大学入試では、本校初の東京大学合格という快挙のみならず、筑波大学や東北大学にも一般受験で現役合格。また国公立特進インテンシブコースの生徒ばかりでなく、大学進学アカデミックコースからも福島大学に一般受験で合格するなど、本校生に無限の可能性を拓いた、輝かしい年となりました。

その実績に希望と勇気をもらった今年度の3年生も、先輩たちに続け！と素晴らしい結果をあげています。この新聞の発行時期の都合上、一般入試の結果まで報告することができないのが残念ですが、現時点で推薦入試やAO入試で合格を決めている3年生の皆さんの中から8名に、後輩たちに贈る体験談を寄せてもらいました。後に続く1・2年生の皆さんも、これを参考に今やるべきことを再確認し、希望の将来の実現に向かって努力を続けていきましょう。来年ここに載るのは、これを読んでいるあなたかもしれません！

氏名（出身中学）
合格大学・学部・学科
【受】受験方式
【動】志望校を決めた動機
【勉】高校時代にこころがけた勉強方法
【活】高校時代、勉強以外に打ち込んだ活動
【桜】桜の聖母学院で学んでよかったこと
【後】後輩へのメッセージ・アドバイスなど

氏家友世（福島市立第一中）
【国】お茶の水女子大学
文教育学部
英語圏言語文化学科
【受】公募推薦
【動】言語だけでなく、演劇など広く文化を学ぶことができ、英語に対する興味をより広げることができると思ったから。
【勉】とにかく英文法と単語をやった。趣味の一環として洋楽を聞いたり洋画を見て、自然と単語やリスニングの勉強になった。洋画は異文化の理解にもなった。
【活】英語検定とボランティア活動。
【桜】英語科独自の英語教科書が多様で、ただ文法をやるだけでなく、文学や異文化にも触れることができた。英検受験にも積極的な環境だった。
【後】進路について悩んでいる方も多いと思いますが、今できることに精いっぱい取り組んでください。また、何でも話せる友人をつくり、協力することが大切です。受験の際にも大きな心の支えとなりました。

* *

亀井彩（桜の聖母学院中）
【国】宇都宮大学工学部
情報工学科
【受】公募推薦
【動】数学と物理が好きで、コンピュータの勉強もやりたかったから。また、自分のやりたいことを応援してくれる大学という印象を受けたから。
【勉】わからないと思ったら、すぐ先生に質問するようにしていた。また宿題は期限までに出すことを心がけた。
【後】ろくに勉強しなくても点がとれちゃう人、いると思います。その人たちは理解が早いのです。その才能を伸ばさないのはもったいないので、今の位置に甘んじることなく、たくさん勉強してください。もっともっと伸びていくはずです。

* *

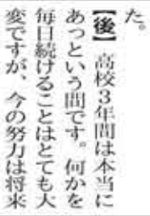
竹内彩香（福島市立清水中）
【国】福島大学理工学群
共生システム理工学類
【受】AO
【活】生徒会活動。
【桜】一人ひとりのことをちゃんと見てくれる学校。理系の生徒は文系と比べて少ないが、そのおかげで気軽に質問ができた。
【後】3年間はあっという間に過ぎてしまいます。部活や趣味などと勉強を両立させることはとても大変だと思いますが、すきまの時間を上手に活用して、悔いのない3年間にしてください。応援しています！

* *

山川菜穂（桜の聖母学院中）
【私】上智大学
文学部哲学科
【受】カトリックAO
【動】専攻学科だけでなく、興味ある他学部の講義も受けることができる。語学が豊富。またオープンキャンパスの時に、この人の講義を受けたいと思う教授を見つけたから。
【勉】授業に集中し、その時間内で自分の力にするように努める。わからない所は何をしてでも解決する。
【活】英検と漢検の勉強。女子校なので、細かいことでも親身になって対応してくれたこと。またカトリック精神を学ぶことで、私自身の知識をより深めることができたこと。
【後】3年間はあっという間に過ぎてしまいます。部活や趣味などと勉強を両立させることはとても大変だと思いますが、すきまの時間を上手に活用して、悔いのない3年間にしてください。応援しています！

* *

有賀仁美（米沢市立第二中）
【私】明治薬科大学
薬学部薬学科
【受】公募推薦
【動】この大学にしかない独特の勉強法にひかれ、オープンキャンパスでお会いした先生のもとで学びたいと思ったから。
【勉】模試や授業など、すべてにおいて復習を大事にし、わからないことがあればすぐ先生に聞いて解決するよう心がけた。
【桜】この学校ならではの環境や、いつも応援してくださる先生方がいるもとで学べたこと。
【後】最後まであきらめない粘り強さが大切だと思います。高校生活は短いので、悔いのないよう過ごしてください。



力丸茉央（郡山ザベリオ学園中）
【私】上智大学
文学部史学科
【受】カトリックAO
【動】カトリック精神に基づいた教育と、国際色豊かなキャンパス。
【勉】定期テストで確実に点数を取るために、疑問点があったら友人や先生に質問し、理解できるまで教えてもらった。電車通学だったので、通学時間を有効に活用した。
【活】放送部とインターアクト部の部活動、ボランティア活動。
【桜】一人ひとりの先生方が、どんな些細なことでも親身になって対応してくれたこと。またカトリック精神を学ぶことで、私自身の知識をより深めることができたこと。
【後】3年間はあっという間に過ぎてしまいます。部活や趣味などと勉強を両立させることはとても大変だと思いますが、すきまの時間を上手に活用して、悔いのない3年間にしてください。応援しています！

* *

松岡奈々（郡山市立第一中）
【私】中央大学人文社会学部
社会学科
【受】公募推薦
【動】高校まで続けてきた卓球を続けるために、技術・人間性共に成長できる環境だと思ったから。また社会の様々な問題に興味があり、詳しく学びたいと思ったから。
【勉】重要なところをノートにまとめたり、暗記ものは何度も書いて覚えた。電車通学の時間を無駄にせずに勉強した。帰宅時間が遅く家庭学習時間がとれなかったので、授業を大切にした。
【活】卓球部の部活動。
【桜】宗教の授業を受けたことで、精神面で成長できた。特に7Jでは、自分を見つめ向き合うことで、自分を知ることができた。
【後】高校3年間は長いようですごく短いです。夢や目標を持ち、それに向かって努力をすることで充実した3年間を送ることができます。周りに流されず、自分を持つことが大切です。女子校で過ごす貴重な時間を、悔いのないように思い切り楽しんでください。

* *

林さやか（福島市立清水中）
【私】南山大学
外国語学部英米学科
指定校推薦
【受】
【動】英語や国際関係に関心があり、充実した英語のカリキュラムが自分に合っていると考えたから。大学全体で国際交流に力を入れているところにも魅力を感じた。
【勉】予習をしっかりして、授業中にわからなかったところは、授業が終わってから先生に質問した。休み時間などのちょっとした時間を活用し、英語や古典の単語の暗記をするようにした。
【活】茶道部の部活動。英検やTOEIC。
【桜】宗教の授業を受け、精神的に成長することができた。女子校という落ち着いた環境で学習に取り組めた。
【後】高校3年間は本当にあっという間です。何かを毎日続けることはとても大変ですが、今の努力は将来の自分の力になると思います。様々なことにチャレンジして、自分の目標を見つけ、それに向かってがんばってください。

編集後記

「サクラ咲く桜の聖母…」花をふんだんにあしらったこの見出しを考えたのは私。決してダジャレやウケ狙いではありません！
（つくばエクスプレス）

家族と本と新聞とインターネット…　あらゆるものと人を利用して（巻き込んで）書いた記事、果たして苦労の甲斐はあったのか?!
（なりたエクスプレス）

あっという間にまた卒業の季節が巡ってきて、先輩方ともお別れです…　残った新聞部員は、現2年生4人（含む留学中）。いま欲しいのは、お金よりもカレシよりも新入部員！　あなたの席、空いてます!!
（きみとエクスプレス）

鈴木杏奈さん 県文学賞青少年奨励賞に

昨年10月下旬に発表された、第63福島県文学賞の詩部門で、本校2年の鈴木杏奈さん（郡山第一中出身）が、青少年奨励賞に輝いた。一昨年の大竹みづきさん（現3年）以来の、本校生の受賞となった。

受賞作「想いは天上へ昇る」は、応募規定に従って5編の詩から成るが、そのすべてを掲載するのは紙面の都合上難しいので、ここでは本人もイチオシの第5作目を紹介しよう。

「明日の空に光なくとも～湖と糸とんぼ」

草の上に
糸とんぼが止まっている。
その尾は
南の海の色
平和の色
輝く青。

私の心の水面は青く
鋭い刃のように冷えている。
水面に向かって問いかける
私の生きる理由は、と。
水面に波はなく　答えは映らない。

夏の風が吹いた。
糸とんぼはきらめきながら飛び立った。
降り積もる冬の花を見ることもできない
儚く青い光のかけら。
透き通った翅で
糸とんぼは空に消えた
淡い青色の空へ。

時が流れれば
青い炎は燃え尽きるだろう
ひっそりと緑の草の根元で。
空が翳れば
闇は水の青さを隠すだろう
明日の光さえも。

私は一人水辺に立ち
もう一度問いかける
私の生きる理由は、と。
水面に答えは映らない。
ただ暗い水底から詩を紡ぎ出す。
何かを作り出すために
私が生きているのなら
きっとそれが問いかけの答え。

明日の空に光なくとも
この闇が終わらなくとも
心の湖は清冽で青い。
明日の空に光なくとも
生きてゆこう
新たな詩を紡ぐために。

学校法人コングレガシオン・ド・ノートルダム
桜の聖母学院高等学校
平成23年度 二次入試
普通科国公立特進インテンシブコース
普通科大学進学アカデミックコース
英語科グローバルイングリッシュコース
各コース若干名募集
願書受付　平成23年3月15日（火）～3月16日（水）午前9時
試験日　平成23年3月16日（水）
各コースの出願基準やお問い合わせは
本校入試係（Tel.024-535-3141）

春休みの旅行はもうお決まりですか？
好評受付中
JTB東北 福島支店
〒960－8035
福島市本町5－26（本町本田ビル1F）
TEL 024－521－0101
営業時間：月～日曜日／10:00～18:00
（水曜・祝日・振祝及び12/30～1/3休業）
JTB東北福島支店ホームページアドレス
http://www.jtb.co.jp/shop/fukushima/

大切な写真は
●広々とした空間を持つ
—ファミリースタジオ—
●緑に包まれた
—ガーデンスタジオ—
●絵画が楽しめる
—サロンスタジオ—
PHOTO SALON
わが家のメモリーアート
ワタナベスタジオ
〒969-1612 福島県伊達郡桑折町字西大隅3-13
TEL0245-82-3152　FAX0245-82-3622

菓子、食品、卸、小売
聖母中北門向かい
さとう商店
〒960-8055
福島市野田町7-12-6
TEL024-535-1986

新学期に向けてスタートダッシュ！
参考書フェア
辞書・電子辞書ご相談下さい。
FBN 西澤書店
文化情報発信館
大町店　福島市大町7-20　Tel.024-522-0161 Fax.024-522-4139
北　店　福島市南矢野目字中江12-5　Tel.024-557-5101 Fax.024-557-5107